

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月11日

上場会社名 相模ゴム工業株式会社
 コード番号 5194 URL <http://www.sagami-gomu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大跡 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営計画室 室長 (氏名) 吉田 邦夫
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

上場取引所 東

TEL 046-221-2311

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	2,469	—	112	—	87	—	30	—
20年3月期第2四半期	2,323	9.7	113	△20.0	197	27.2	106	17.0

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第2四半期	2.81	—	—	—
20年3月期第2四半期	9.74	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年3月期第2四半期	7,642	—	2,962	—	36.3	—	255.06	
20年3月期	7,746	—	3,232	—	39.2	—	278.89	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 2,776百万円 20年3月期 3,037百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	10.00	10.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	4,670	0.9	200	74.7	170	73.2	60	—	5.51	

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 10,937,449株 20年3月期 10,937,449株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 49,993株 20年3月期 46,701株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 10,889,479株 20年3月期第2四半期 10,896,066株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1 上記の予想は、当社が現在入手している情報に基づき作成しているものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題を発端とした金融不安の拡大が欧米の金融危機や実体経済の急速な悪化を招き、激しい為替相場の変動も相俟って、世界的な景気後退の様相を呈してまいりました。

このような環境のもと、当グループの業績については、医療機器事業は、販売価格が依然低迷しているものの、欧米向け輸出を中心に、堅調に売上が続伸し、プラスチック製品事業は、原油価格の高騰による原料価格の高止まりの中、付加価値製品の販売強化に努めましたが、ヘルスケア事業は、生活自助具の販売競争が格段と激化し推移いたしました。また、原料価格が高騰する中、生産性の向上・業務の効率化・経費削減等コストの圧縮、新たな製品開発等に努めた結果、当第2四半期連結累計期間（6ヶ月）の業績は、売上高24億6千9百万円、営業利益1億1千2百万円、経常利益8千7百万円、四半期純利益3千万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計期間末に比べ1億3百万円減少し、76億4千2百万円となりました。これは主に、機械装置及び運搬具が1億5百万円、投資有価証券が1億1千8百万円減少し、受取手形及び売掛金が1億2千2百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計期間末に比べ1億6千6百万円増加し、46億8千万円となりました。これは主に、借入金の増加によるものであります。

純資産合計は、前連結会計期間末に比べ2億6千9百万円減少し、29億6千2百万円となりました。これは主に、配当実施に伴う利益剰余金1億6百万円、その他の有価証券評価差額金6千9百万円、為替換算調整勘定8千3百万円の減少によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

下期における我が国経済は、景気は依然として先行きの不透明感が強く、当グループを取り巻く環境も引き続き厳しい状況で推移していくものと予想されます。

従いまして、前回公表（平成20年5月22日）いたしました平成21年3月期の業績予想につきましては、別途発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・簡便的な会計処理

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 原価差額の配賦方法

標準原価を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に前連結会計年度末の配賦割合をもとに配賦しております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④ 経過勘定項目の算定方法

前連結会計年度の実績をもとに合理的な算定方法により計上しております。

⑤ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

・四半期特有の会計処理

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
- ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
 - ② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。
これによる損益に与える影響は軽微であります。
 - ③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これにより、利益剰余金が28,294千円減少しております。また、これによる損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	654,473	594,723
受取手形及び売掛金	1,654,087	1,531,639
製品	256,286	269,274
原材料	417,582	372,955
仕掛品	641,967	669,708
貯蔵品	83,392	116,447
繰延税金資産	72,586	72,816
その他	89,486	82,543
貸倒引当金	△61,610	△65,076
流動資産合計	3,808,250	3,645,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,864,331	1,878,208
減価償却累計額	△1,158,040	△1,143,977
建物及び構築物(純額)	706,290	734,231
機械装置及び運搬具	4,709,918	4,841,705
減価償却累計額	△3,241,539	△3,267,688
機械装置及び運搬具(純額)	1,468,379	1,574,016
土地	964,512	968,745
その他	252,419	248,308
減価償却累計額	△218,042	△216,807
その他(純額)	34,376	31,500
有形固定資産合計	3,173,559	3,308,495
無形固定資産		
のれん	87,015	99,408
その他	5,293	4,012
無形固定資産合計	92,309	103,420
投資その他の資産		
投資有価証券	519,055	637,091
その他	61,710	65,840
貸倒引当金	△12,403	△13,577
投資その他の資産合計	568,361	689,354
固定資産合計	3,834,230	4,101,270
資産合計	7,642,481	7,746,304

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	608,512	542,046
短期借入金	2,632,968	2,666,748
未払法人税等	59,888	93,038
賞与引当金	80,287	62,723
その他	195,171	152,481
流動負債合計	3,576,827	3,517,037
固定負債		
長期借入金	815,400	660,000
繰延税金負債	37,128	84,832
退職給付引当金	95,602	52,594
役員退職慰労引当金	154,089	199,577
その他	1,000	—
固定負債合計	1,103,220	997,004
負債合計	4,680,047	4,514,042
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,436	547,436
資本剰余金	681,385	681,385
利益剰余金	1,891,268	1,997,871
自己株式	△15,980	△15,050
株主資本合計	3,104,110	3,211,642
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	158,428	227,697
為替換算調整勘定	△485,552	△402,004
評価・換算差額等合計	△327,123	△174,306
少数株主持分	185,447	194,925
純資産合計	2,962,433	3,232,261
負債純資産合計	7,642,481	7,746,304

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	2,469,782
売上原価	1,741,859
売上総利益	727,923
販売費及び一般管理費	615,863
営業利益	112,059
営業外収益	
受取利息	235
受取配当金	6,577
その他	20,953
営業外収益合計	27,766
営業外費用	
支払利息	29,724
為替差損	22,595
その他	214
営業外費用合計	52,535
経常利益	87,291
特別利益	
固定資産売却益	7
貸倒引当金戻入額	2,918
特別利益合計	2,925
特別損失	
固定資産除売却損	2,246
特別損失合計	2,246
税金等調整前四半期純利益	87,970
法人税等	59,443
少数株主損失(△)	△2,071
四半期純利益	30,599

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前第2四半期に係る財務諸表

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期 第2四半期)
	金額
I 売上高	2,323,744
II 売上原価	1,620,035
売上総利益	703,708
III 販売費及び一般管理費	590,324
営業利益	113,384
IV 営業外収益	120,788
V 営業外費用	36,804
経常利益	197,369
VI 特別利益	1,666
VII 特別損失	4,792
税金等調整前四半期(当期)純利益	194,242
税金費用	86,281
少数株主利益	1,880
四半期(当期)純利益	106,080